

事業名	南アルプス環境保全対策費			調書番号	71
細事業名	南アルプス山岳交通適正化協議会負担金	財務コード	7415		
担当部課室	観光部 観光資源課 課 観光資源 担当 (内線)	4303			

事業の概要

実施期間	始期 H20 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	負担金(南アルプス山岳交通適正化協議会)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	南アルプスへの来訪者	南アルプスの玄関口である広河原へ通じる「県営林道南アルプス線」及び「県道南アルプス公園線」について、マイカー規制を実施の趣旨について理解を深める
結果、何に結びつけるのか	自然環境の保全及び交通渋滞の解消による持続可能な自然公園利用の快適性の確保	
内容	南アルプスの玄関口となる広河原へのマイカー乗り入れを規制し、交通渋滞を解消し環境保全を図る。また、ゲート管理員の配置等マイカー規制の実施に必要な経費を関係団体と規制区間利用者が負担する。 ・実施主体 南アルプス山岳交通適正化協議会(構成:行政機関、民間団体、交通事業者、学識経験者等) ・規制期間(H28) 平成28年6月25日~平成28年11月9日(138日間) ・規制区間 県営林道南アルプス線(芦安~広河原) 県道南アルプス公園線(奈良田~広河原) ・利用者協力金 1人片道 100円(小学生以下50円 ただし、未就学児童は無料) ・負担金内訳 県:3,500千円 南アルプス市:3,000千円 早川町:500千円 交通事業者:1,250千円	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	利用者協力金支払者割合	目標	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
		実績(見込)	99.96%	99.97%	99.98%	99.99%	99.99%	99.99%
		達成率	99.97%	99.97%	99.98%	99.99%	99.99%	99.99%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	規制区間の利用者に制度の趣旨を理解してもらい、ほぼ全ての利用者から協力金を徴収できている。
成果指標	評価	国立公園の特別保護区域である南アルプスの最深部への車両の乗り入れを規制することで自然環境の保全が図られた。また、規制区間は急峻な山岳部にあるため道幅が狭く路面の状態も良くない上に、崩落も多発することから車両の乗り入れを規制することで通行者の安全を確保した。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(県以外では実施できない。)
	説明	県営林道、県道の交通規制を伴うため、県が関与する必要がある。
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	自然環境保全の保全及び通行の安全確保により、美しくかつ快適な自然環境の提供が持続可能。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(マイカー規制実施のためのゲート管理に要する事業費であり、見直しの余地がない)
その他	説明	
見直しの必要性	無	関係団体が協力して行っている南アルプスへのマイカー規制を取りやめられない限り必要となる事業費であり、今後もマイカー規制の必要性は続くものであるため。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。